

平成 27 年度 貯金を崩しながらでも 備えなくてはならないこと！

第 1 回定例会が終わって 3 週間、結果報告が遅くなってしまいました。申し訳ありません。今までは会議の中での質疑の状況をお知らせしていましたが、今回は議案が 45 件と多かったため、概要をお知らせいたしますので詳細は後ほど会議録で確認をお願いします。

新年度の予算を決める第 1 回定例会は、予算特別委員会を設置し集中的に予算審議をします。大切な皆さんの税金や国からの交付税が、どの様に活かされて町づくりがされるのか、しっかりと見極めなければならないからです。

連日熱心な質疑がくりかえされましたが、最終的には議員間の討議を行った後、一般会計賛成 12・反対 2、介護保険事業特別会計賛成 12・反対 2、病院事業会計賛成 12・反対 2、その他の 7 つの会計は全て全会一致で賛成となりました。

財務課長からは「基金（貯金）を取り崩して作った予算」であること、それは総合病院への繰出金の問題だけではなく、繰出金がなくても収入を上回る支出であることが説明されました。それは八雲地域に防災行政無線が整備されることや、熊石地域の防災行政無線のデジタル化、消防救急無線のデジタル化など不測の事態に備え、町民の安全を守るために必要な措置を取ることを優先したことによるものです。

何十年、何百年に 1 度の災害、いつ襲って来るかわかりませんが、明日やってくるかもしれません。まず、町民の安全の確保を最優先した予算となりました。

そのために、予定していた事業の中止もやむを得ないところもあったようです。我々、議会も予定していた議会中継を 27 年度はあきらめ、次年度以降へと先延ばしをすることになりました。議会中継とは別なところで開かれた議会にどの様に取り組んで行くか、議員皆で知恵を出し合いやってまいります。

4 日間にわたる予算特別委員会を終えて、審査報告書を議長に提出しましたが、報告書には付帯意見を付けることになりました。議員間で話し合った結果ですが、やはり総合病院には頑張って経営を立て直して欲しいという思いが皆にあったため、総合病院に向けたもので次の様な内容になりました。

『町の財政運営が極めて厳しい事態にある中、平成 26 年度に続き平成 27 年度も八雲総合病院への繰出し額は一般会計に非常に大きな負担となっている。この数年をかけ事務事業の見直しなどで積み上げて来た基金を取り崩しながらの本年度予算である。

総合病院においては事業執行にあたり、それらの状況を十分に踏まえ慎重かつ適正な

予算執行をされたい。』

また、報告書提出に合わせ予算特別委員会委員長から、次のとおり口頭での追加意見が述べられました。

『平成27年度の予算編成は、財政健全化の観点から、限られた財源の効率的配分と歳出の抑制を基調としております。

即ち、そこには、事業の厳選と優先度を十分に検討し、政策提案に際しては、町民が納得できる説明責任が求められるものであります。

事業の決定や事業の優先度、必要性について色々な場面で協議されたが、常に、町民の利便性や幸せを重んじ、地域の人々と十分に話し合い、決定されるよう今後も取り組んでいきたい。

熊石地域での小中学校の統廃合については、PTA自らが説明会を開催し、地域住民の理解を得る努力をされ平成29年を見据え動き出したが、これからも地域への一層の説明や地域コミュニティの確立に更なる努力していただきたい。

また、付帯意見で、八雲総合病院と財政の問題について述べたが、そればかりではなく地域医療を支える大切な存在でもあり、熊石国保病院共々、地域で守り続けなければならない。両病院には、これからも、町長を筆頭に皆で知恵を出し合い健全な病院づくりに努めていただきたい。』

既に平成27年度は動き出しています。我々が決定した予算が、町民の安心と幸せのために使われて行くよう、見続けて行きたいと思います。

また、5月18日（黒岩会館・くまいし館）、19日（山越会館・落部レクセン）、21日（野田生会館・熊石母と子の家）、22日（はぴあ）で議会報告会を行います。

5月22日の「はぴあ」は午後2時からと午後6時30分からの2回ですが、その他の会場はすべて午後6時30分からです。是非足を運んでいただき、報告に耳を傾けていただき、その後、意見交換を行いましょう。

私たち八雲町議会は、八雲総合病院が八雲町民、そして二次医療圏の医療を必要とする全ての人のため、真に求められる病院であり続けるよう応援していきます。

地域医療は、地域の住民の手で守り育てていきましょう。